

# 総合的な学習の時間における NIE の実践

## 「わたしと宮崎～宮崎の魅力再発見～」

宮崎大学教育学部附属小学校 教諭 荒川 ひかり

### 1 はじめに

本校では、総合的な学習の時間を「わかたけの時間」と称し、第3学年から探究的な学習に取り組んでいる。子どもが各教科等で培った資質・能力を場面に応じて発揮させながら、探究課題の解決を行うことができるように、教科等横断的な視点に立ち、単元構成や学習活動を工夫して学習を展開している。

本年度は、2022年 NIE 全国大会発表校となり、第6学年の総合的な学習の時間を中心とした NIE の実践を行ってきた。本単元「わたしと宮崎～宮崎の魅力再発見～」は、「宮崎の魅力とは何か」という疑問を出発点とし、宮崎の活性化のために、宮崎の魅力を探り、再発見した魅力をより多くの人に発信していくことを単元のゴールとしている。そこで、第6学年の行事の1つである「修学旅行」を関連させながら、他県の魅力について学んだことを基に、宮崎の魅力に迫る調査活動や体験活動を行い、他県と宮崎とを比較したり、改めて宮崎について見つめ直したりするなかで、宮崎の魅力を再発見できるような探究的な学習を行った。以下は、本単元における NIE の実践である。

### 2 本単元の趣旨

本単元は、宮崎や県外の魅力について調査・体験したことを基に、宮崎を修学旅行先として PR する取組を行うことをとおして、宮崎には日本に誇れる観光資源があり、それらを生かした県の取組があることを理解することができるようにする。さらに、よりよい郷土の創造という観点から宮崎の魅力を生かす取組とは何かについて考えるとともに、社会や地域の一員として働きかけることができるようにすることをねらいとしている。

#### 【単元構成計画】

単元のゴール：宮崎の活性化のために、宮崎の魅力再発見し、その魅力を発信する。

探究課題Ⅰ  
修学旅行先としての○  
○の魅力を調査！  
・鹿児島行き  
の修学旅行  
プランの調査・分析

修学  
旅行

探究課題Ⅱ  
宮崎の魅力再発見！  
・修学旅行のふりかえり  
・宮崎の観光調査  
・宮崎の観光体験

探究課題Ⅲ  
宮崎の修学旅行  
プランを立案！  
・宮崎の修学旅行  
プランの立案

探究課題Ⅳ  
宮崎の魅力を  
発信！  
・修学旅行先として  
の宮崎の PR

### 3 本単元における実践

#### (1) NIE ノートの活用

本学年の子どもは、第5学年のときから、週に1回、「NIE ノート」に、関心をもった新聞記事の内容を要約して見出しを付けたり、調べたことや感想をまとめたりする活動に取り組んできた。本年度は、年間をとおして、「観光」や「宮崎の魅力」といった視点で新聞記事を選択させたことで、目的をもって新聞を読み、まとめることができ、宮崎の魅力発信につながった。



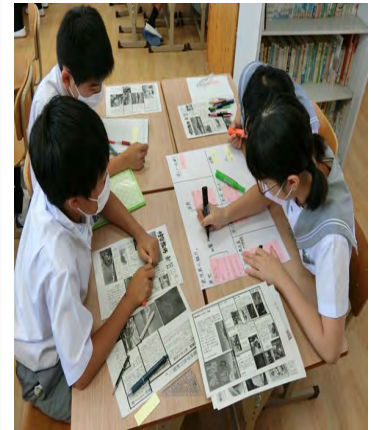
【宮崎の魅力に関する NIE ノート】

## (2) 修学旅行新聞の作成

本単元の探究課題Ⅱにおいて、修学旅行で学んだ鹿児島県の魅力について、タブレット型端末を用いて新聞を作成する取組を行った。その際、国語科で学習した新聞の特徴について確認したことで、見出しやレイアウト等を工夫して新聞を作成する姿が見られた。その後、互いが作成した新聞を読み合い、そこから分かる鹿児島県の魅力について小グループで話し合う活動を行うことで、新聞から得た情報を、仲間と協働しながら整理・分析することができた。



【修学旅行新聞】



【新聞を基に話し合う様子】

## (3) 新聞記事を活用した授業

### ①本時について

本時は、探究課題Ⅱに位置付く授業である。本時では、豊かな自然を生かした体験を求めて宮崎を訪れる修学旅行生の新聞記事を複数取り上げることで、訪れた相手にとって、修学旅行先としての宮崎の魅力とは何かを考え、新たな視点で宮崎の魅力について見いだすことができるようにした。

### ②学習指導案

#### ○ 目標

新聞記事の情報を基に、修学旅行で宮崎を訪れる相手にとって、修学旅行先としての宮崎の魅力とは何かを考え、まとめることができる。

【思考・判断・表現】

#### ○ 学習過程

主な学習活動	留意点等
<p>1 本時の学習問題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鹿児島県の修学旅行先としての魅力</li> <li>○ 各地から宮崎を訪れる修学旅行               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内外の修学旅行</li> <li>・ 海外から訪れる修学旅行</li> </ul> </li> <li>○ 学習問題</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>修学旅行で宮崎を訪れる相手にとって、修学旅行先としての宮崎の魅力とは何だろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鹿児島県の修学旅行先としての魅力を問い、ふりかえらせることで、改めて、宮崎の魅力とは何かという単元導入時に抱いた問題意識を高めることができるようにする。</li> <li>○ 県内外、海外から宮崎を訪れる修学旅行の新聞記事の一部を提示し、訪れている人々や旅行プランに着目させることで、「宮崎にも魅力があるのか」という学習問題を設定できるようにする。</li> <li>○ 「それぞれの相手にとっての宮崎の魅力」を考える視点として、話し合いの仕方を確認することで、見通しをもって活動に取り組むことができるようにする。</li> </ul>
<p>2 本時学習について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 修学旅行で宮崎を訪れる相手               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 宮崎県内の学生</li> <li>② 全国各地の学生</li> <li>③ 海外の学生</li> </ul> </li> <li>○ 話し合いの仕方（個人→小グループ）</li> </ul>	
<p>(1) ①～③から相手を選び、新聞記事の情報やこれまでの調査内容を基に、その相手が宮崎の修学旅行でどのようなこと・ものを魅力に感じるのかを考える。</p> <p>(2) 考えを出し合い、相手にとっての修学旅行先としての宮崎の魅力を整理・分析する。</p> <p>(3) 相手にとって、修学旅行先としての宮崎の魅力とは何かをまとめる。</p>	

3 相手にとって、修学旅行先としての宮崎の魅力とは何かを考え、話し合う。

【見いだした宮崎の魅力の例】

- ・農業体験 ・スポーツ体験
- ・歴史探訪 ・田舎暮らし体験 等

4 小グループで考えた修学旅行先としての宮崎の魅力について、全体で話し合う。

○ 見いだした宮崎の魅力

5 本時の学習をふりかえる。

- 本時学習に対するふりかえり
- 次時の学習の見通し

○ 宮崎の魅力について、付箋紙に書き出し、分類させることで、宮崎の魅力を見いだすことができるようにする。

○ 小グループでまとめた考えを発表し、他のグループの考えと比べながら類似点や相違点に気付かせることで、自分たちの考えを広げたり、見直したりすることができるようにする。

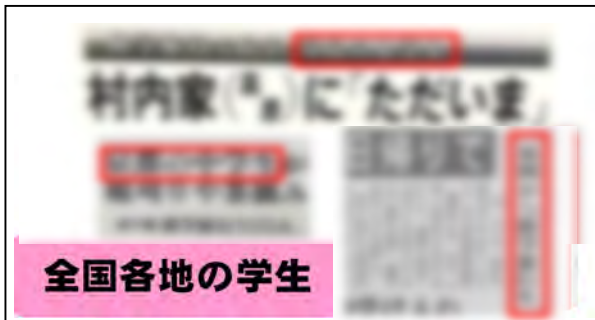
○ 「新たに見いだした宮崎の魅力」という視点で本時の学習をふりかえり、共有させることで、今後の探究活動や魅力発信への意欲を高めることができるようにする。

【ふりかえりの例】

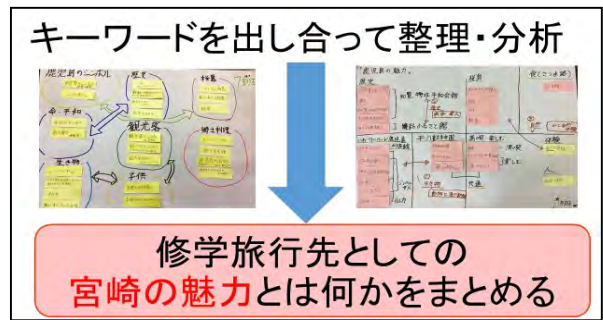
宮崎の修学旅行先の魅力といえば、観光地や食べ物なのかと思っていたけれど、農業体験や農村民泊といった宮崎の自然を生かした体験にも魅力があるのかもしれないね。いろいろな相手に宮崎の魅力を発信していくためにももっと調査したいな。

③授業の実際

導入では、県内外、海外から宮崎を訪れている修学旅行の新聞記事の一部を提示したことで、訪れている人々や旅行プランに着目し、学習問題を設定することができた。展開では、宮崎を訪れる相手（県内の学生、全国各地の学生、海外の学生）にとって、修学旅行先としての宮崎の魅力とは何かという視点を与え、新聞記事からの気付きやこれまでの調査内容を基に、小グループで話し合いを行った。終末では、本時見いだした宮崎の魅力をふりかえらせたことで、宮崎を PR する相手を意識し、今後の探究活動へとつなげていくことができるようにした。



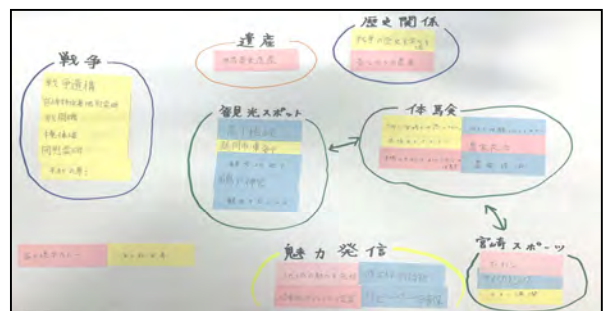
【提示した新聞記事の一部】



【提示した話し合いの進め方の一部】



【小グループでの話し合いの様子】



【宮崎の魅力を整理・分析してまとめたもの】





【全体での話し合いの様子】

ふりかえり  
海外からも宮崎に修学旅行に来ていることを初めて知りました。鹿児島の魅力と似ているところもありました。農村民泊やサーフィン等の体験も宮崎の魅力だと思います。これからの魅力発信につなげていきたいです。

【授業後のふりかえりの記述】

#### (4) 授業後の取り組み

##### ① NIE ノートの掲示

子どもがまとめた NIE ノートを教室内や廊下の掲示板等に掲示したことで、仲間がどのような記事に着目し、どのようにまとめたのかを見て、今後の NIE ノートの取り組みに生かす姿が見られた。



【NIE ノートの掲示】

##### ② NIE ノートの発表

「観光」や「宮崎の魅力」に関する記事についてまとめた NIE ノートを基に、要約した記事の内容や自分の考え等を、週に 1 回、小グループ内で発表する活動を行った。また、学級全体で NIE ノートの紹介をしたり、互いの選んだ記事に合う見出しを考えさせたりする活動も行った。そうすることで、単元のゴールである宮崎の魅力発信に向けて、仲間の選んだ記事に興味をもって話を聞いたり、その記事の内容について仲間と更に調べたりする姿が見られた。



【NIE ノートの発表の様子】

## 4 成果と課題

### 【成果】

- 新聞記事を読むことを通して、社会の出来事に関心をもち、家庭や学校でそれらを話題として話し合う機会が増えた。
- 年間を通して、総合的な学習の時間の単元のゴールを見据え、新聞記事から情報収集をさせたことで、目的をもち、様々な視点から新聞記事を読むことができた。
- 新聞記事から知り得た情報をまとめる活動を通して、写真やキーワード等を基に、簡潔に要約したり、自分の考えをまとめたりすることができるようになり、情報活用能力等の資質・能力が高まった。

### 【課題】

- NIE の実践を学校全体に広げていくために、新聞を置く場所や掲示方法等を工夫していく必要がある。
- 各学年や各教科等における新聞記事を活用した実践を積み重ねていく必要がある。